

海の安全レポート

第七管区海上保安本部
海の安全推進室

093-331-6395(交通部安全対策課)

第138号 平成29年12月号

BACKNUMBER

http://www.kaiho.mlit.go.jp/07kanku/gyoumu/kyunan/marine_anken_report/

アンカーの絡索に注意！

【事例】

海難船舶は、下関市吉見港から蓋井島東方海域に出漁し、アンカーを船首から投錨し、漁を開始しました。

途中、風の影響により、漁場のポイントから何度も外れたため、その都度ポイントを移動させようとし、揚錨することなく機関を始動し、アンカーを引きずる形で移動していたところ、絡索しました。

同船舶は、航行不能となったことにより、海上保安庁に通報し救助されました。



絡索の除去状況

【事例】

海難船舶は、釣りをを行うため、福岡県糸島市所在のマリーナを出港し、小呂島北側海域に向いました。小呂島北側海域に到着し、潮流しをしながら釣りを開始しましたが、潮のぼりが大変だったことから、アンカー(アンカーチェーン長さ約20メートル)を入れて、引き続き釣りを行いました。その後釣り場を移動するため、アンカーチェーンを約5メートルほど巻き上げ、中吊りの状態で最微速にて前進したところ、アンカーチェーンが左舷プロペラに絡まったことから、航行不能となり、海上保安庁に通報し救助されました。



救助を待つ海難船舶



巡視船による曳航状況

ポイントを移動する際は、必ずアンカーアップしてから！！



アンカーの取扱いには十分注意をお願いします。

プレジャーボートや遊漁船では、アンカーを海中に投入し、釣りを楽しんでいる方も多いと思います。ただこのアンカーは意外と重量があるため、人力で海中に投入する時や引き揚げる時に、その重さによって、人が海中転落する危険性がありますので、以下の点に十分注意してください。

アンカー投入時は、ロープの状態に十分注意する

アンカーを投入前、ロープを適切に扱わず、船上でコイル（輪に束ねる）するなど整理して置いていない場合、ロープが足に引っかかり転倒する危険があります。

アンカーを揚げる時も注意する

・アンカーを海面から引き揚げる瞬間は、急にアンカーが重くなり、滑りやすい船上で転倒しやすく、非常に危険です。

・巻き上げ用ローラーで巻取りをした際に、最後にアンカーがローラーから跳ね上がり、船上で人に直撃する危険もあります。

海で命を守る 3つのポイント

- ライフジャケットの常時着用
- 連絡手段の確保
防水携帯電話の携行！
- 海のもしものは「118番」



海上保安庁第七管区海上保安本部



～冬季を迎えるにあたって（一言）～

今年も残りわずかとなりました。

マリンレジャーを楽しむ季節としては、厳しい季節となりましたね。しかし、レジャーに“寒さは無用” “寒がるなんてナンセンス”！ まさにおっしゃるとおり？

ただ、自然は生き物です。これからますます北寄りの季節風は強くなり、海上は時化の日が多くなります。「天気もいいし海も穏やかだろう」、「折角の休みだから」、「やっと取れた休みだから」、「釣り船予約したしお金払ったから」・・・お気持ちは分かりますが、無理をせずまずは安全が第一、やめる勇気も必要です。様々な、マリンレジャーを楽しむ方が多いと思いますが、出かける前には、「海の安全情報」で天気予報や気象象情報を確認しましょう。



気象を確認し、出港をやめる勇気大事だぜ！

海の安全情報の緊急情報配信サービスに登録すると「灯台で観測したりリアルタイムな気象情報」「竜巻目撃情報・突風に関する緊急情報」「航行に支障をきたす流木などの漂流物情報」などの情報を入手することが出来ます。

緊急情報配信サービス(電子メール配信サービス)

<http://www7.kaiho.mlit.go.jp/micsmail/reg/touroku.html>



新規登録・登録変更・登録解除は、上記のURL、二次元コードの案内から、指定のメールアドレスへ空メールを送信し、返信される案内メールに沿って行ってください。